

交流

高齢になっても安心して暮らせるまちづくり

地域包括支援センターでは、現在2カ所の直営「みまもーりー♡カフェ」を毎月各1回開催しているほか、南部地区地域包括支援センターでも今年度中に開催を予定しています。お茶をしながらおしゃべりを楽しんだり、専門スタッフに医療や介護のことなどを気軽に相談できます。「もの忘れ」相談やチェックもできます。

もりやまオレンジあったカフェ

時第1水曜日
午後1時30分～3時30分
※11月29日(金)は認知症サポーター養成講座終了後に実施
所すこやかセンター

ほっこり庵～絆

時第4月曜日
(11月・2月・3月は第3月曜日、9月は第5月曜日)
午前10時～11時30分
所北公民館

守山市認定「みまもーりー♡カフェ」は令和元年6月1日現在で3カ所あります。和気あいあいとした雰囲気、それぞれが自主活動として趣向を凝らしたカフェが行われています。認知症について正しい知識を持っているキャラバンメイトさんや認知症サポーターさんがいます。

まほろばカフェ

時毎週木曜日
午前10時～午後3時
所まほろばの郷

いきいきサロン

時第3水曜日
午後1時30分～3時30分
所守山市シルバー人材センター

カフェ東町

時第4火曜日
午前10時～正午
所吉身東町自治会館



タブレットを使って気軽にもの忘れチェックをしてみましょう

最近「直前のことを忘れるようになった」「よく物をなくしてしまう」など、日常生活の中で、もの忘れが気になる人や家族の様子がおかしいと感じている人は、まずはもの忘れチェックを受けてみましょう。「もの忘れ相談プログラム」を使って、気になさるもの忘れについて確認できます。

「もの忘れチェック」と個別相談は、各地域包括支援センターで随時受けることができますので、お気軽にご相談ください。もの忘れ相談プログラムによるチェックの実施と個別相談での所要時間は1人約30分です。

もの忘れチェックとは



ロバ隊長

オレンジリング

守山市認定の新規「みまもーりー♡カフェ」を募集しています。

令和元年6月1日現在、市の直営2カ所、守山市認定3カ所の「みまもーりー♡カフェ」が実施されています。市では取り組みを広げ、高齢になっても、認知症になっても、安心して暮らせるまちをつくるため、地域で定期的に行われているカフェやサロンなどの集まりで、「みまもーりー♡カフェ」に賛同いただける団体(グループ)を募集しています。「みまもーりー♡カフェ」に認定したカフェには、カフェ開催情報の周知や認知症サポーター養成講座の実施、高齢者や認知症に関する情報提供、助言などの支援を行います。詳しくは地域包括支援センターまでお問い合わせください。



地域包括支援センターの職員

私たちが認知症サポーター養成講座やカフェの実施などの相談にのります。

認知症とは

認知症は、誰にも起こりうる可能性のある身近な病気です。認知症は、早くに相談・受診することで進行を抑えることが可能です。国によると、高齢者の約4人に1人が認知症の人またはその予備群で、高齢化に伴い今後さらに認知症の人が増える予想されています。

認知症サポーターとは

認知症の人やその家族を温かく見守る応援者を認知症サポーターといいます。認知症を正しく理解し、見守りや応援の方法を学ぶ「認知症サポーター養成講座」を受講することで、どなたでもサポーターになれます。

認知症支援のチームカラー「オレンジ」

国が進めている認知症施策推進総合戦略を「新オレンジプラン」といいます。新オレンジプランの政策の一つにオレンジカフェ(認知症カフェ)があります。認知症サポーターには「認知症の方を応援します」という意味を示す「オレンジリング」が渡されています。また、認知症サポーターのキャラバンでは、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの道のりをゆつくりと着実に歩く「ロバ隊長」がマスコットになっています。

高齢になっても安心して暮らせるまちづくり

交流

守山市認定
みまもーりー♡カフェ
をご存じですか



地域包括支援センター ☎(581)0330 ☎(581)0203

「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」を目指している守山市では、認知症の人もそうでない人もともに過ごし、笑いあい、落ち着ける集いの場として『みまもーりー♡カフェ』を実施しています。「人と話をする」、「出掛ける」、「新しいことに挑戦する」など、脳に刺激を与えることが認知症の予防にも進行抑制にも大切といわれています。